

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和元年 10 月号

編 集 武田 隆久  
発 行 人  
〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15  
一般社団法人 日本病院会 教育部教育課  
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)  
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)  
URL <http://www.jha-e.com/>  
受付時間 10:00~17:00  
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)  
発 行 日 毎月 1 日  
定 価 1 部 150 円 1 カ年 1,600 円(税込・送料込)  
郵便振替 00190-5-396045  
名 義 一般社団法人 日本病院会 通信教育部

## せっかくの機会なので、宣伝します！

林田 賢史

産業医科大学病院 医療情報部 部長

エビデンスに基づく医療サービスの提供が求められる中、診療情報管理士の業務範囲は飛躍的に広がっています。もともと紙文書の保管・管理といった診療録の管理や ICD のコーディングおよびその集計等が主な業務でしたが、その後、がん登録や DPC コーディング、さらにはデータ分析や電子カルテ等の情報システムの管理（企画・運営等）といった関連分野にまで関わるようになってきました。

あくまでも私見ですが、診療情報管理士が日本においてここまで注目されるようになった 1 つの契機に、DPC の開発・導入があると思っています。コーディング（ICD - 10 コード、DPC コード）の正確性が診療報酬制度設計の根幹に組み込まれたため、医学的知識を背景に正確な情報を作成できる診療情報管理士が重要視されるようになりました。また、DPC はそもそも医療の質評価（可視化）やマネジメントのために開発されたツールだったため、そのデータの特質をよく知る診療情報管理士の役割の 1 つにデータ分析が加わったのも自然の流れだといえます。

皆さんが診療情報管理士の資格を無事に取得し、実際に診療情報管理士として働き始めるようになると、かなりの確率で DPC に関係することになると思います（すでに関係している人も多いと思います）。ただし、同じ医療機関の中に診療情報管理士はあまり多くいないと思いますので、仕事上いろいろと不安に思うことや困ることが少なからず出てくるはずですが、常々言われていることだと思いますが、診療情報管理士の資格を取ることが皆さんのゴールではなく、その後常に学習しスキルアップが必要になってきます。その際、日本診療情報管理学会や日本病院会で開催されている研修等は、皆さんの大きな助けとなることでしょう。

ご存じの通り日本病院会では、診療情報管理士の付加コースとして [DPC コース](#) を開講しています。このコースでは、診断群分類（DPC）に関する基礎知識、現場での実務、またデータ分析まで一通り学べるコースです。DPC 関連業務を行う上で、大変役に立つコースですので、DPC コースの受講もぜひご検討いただければと思います。DPC コース小委員会委員長からの宣伝とお願いでした・・・。

